

さいたま市公民館運営審議会第2回会議 議事録

1 開催日時

令和6年3月12日（火） 13時30分から15時30分まで

2 開催場所

生涯学習総合センター 10階 多目的ホール

3 出席者

〈委員：11名〉

- ① 加藤 美幸 委員長
- ② 磯田 三津子 副委員長
- ③ 太田 祐子 委員
- ④ 大塚 晶子 委員
- ⑤ 加藤 恒 委員
- ⑥ 小森谷 由紀江 委員
- ⑦ 佐藤 一子 委員
- ⑧ 島田 正次 委員
- ⑨ 富田 敏弘 委員
- ⑩ 西形 恵美子 委員
- ⑪ 山口 哲生 委員

〈拠点公民館職員：10名〉

- | | | |
|-------|----------|--------|
| ① 西 区 | 指扇公民館長 | 内ヶ嶋 直哉 |
| ② 北 区 | 大砂土公民館長 | 武笠 充裕 |
| ③ 大宮区 | 桜木公民館長 | 茂木 深雪 |
| ④ 見沼区 | 大砂土東公民館長 | 岩井 由起子 |
| ⑤ 中央区 | 鈴谷公民館長 | 井出 浩史 |
| ⑥ 桜 区 | 田島公民館長 | 掛川 雅世 |
| ⑦ 浦和区 | 岸町公民館長補佐 | 若谷 喜大 |
| ⑧ 南 区 | 文蔵公民館長 | 石関 達 |
| ⑨ 緑 区 | 大古里公民館長 | 春日 徹也 |
| ⑩ 岩槻区 | 岩槻本丸公民館長 | 青木 文彦 |

〈事務局：8名〉

生涯学習総合センター

- | | |
|--------------|--------|
| ① 館長 | 岸 聖一 |
| ② 参事兼副館長 | 中村 和哉 |
| ③ 主幹兼事業・企画係長 | 野口 みずほ |
| ④ 事業・企画係主査 | 三井 響子 |
| ⑤ 事業・企画係主査 | 曾根 啓佑 |
| ⑥ 事業・企画係主事 | 小暮 裕貴 |

⑦ 事業・企画係社会教育指導員 松本 みはる

⑧ 事業・企画係社会教育指導員 成尾 千里

4 欠席者

〈委員：2名〉

① 小林 玲子

② 白石 徳一郎

5 事務局からの報告、説明等

- ・前回会議録について
- ・公民館講座の参加者数、講座内容の推移について

6 配布資料

- (1) さいたま市公民館運営審議会第2回会議 次第
- (2) さいたま市公民館運営審議会第2回会議 席次表
- (3) さいたま市公民館運営審議会第2回会議 グループ名簿
- (4) 生涯学習総合センター・公民館 施設利用状況（平成25年度～令和4年度）

7 公開・非公開の別

公開

8 傍聴者の数

0名

9 会議

会議は委員の半数以上が出席しているので、成立。

10 内容

- ・冒頭、事務局より前回会議録について報告を行った。引き続き、公民館講座の参加者数や講座内容の推移について説明を行った。

山口委員	公民館講座の主な対象として、高齢者・子育て世代・それ以外、といった分類ができると思う。どの層をターゲットにするのかが今後の議論で大事になってくると思うので、事業種別ごとの情報を提供してほしい。
事務局	この10年間で事業種別を変えたり、新しい事業が始まったりしているため、おおよその数値となるが、次回までに用意する。

議題 「公民館ビジョンに基づく各館の取組みについて」

3つの班に分かれグループワークを行った。各班の公民館長から公民館の事業評価を行うために、本市の公民館事業や公民館ビジョンとの関連性について報告後意見交換を行った。

<p>2班 (富田委員)</p>	<p>各館の報告はとてもよかった。地域の状況や施設設備の状況が異なるので数値化して一律に評価するのは難しい。地域の団体や人材を活用したもの、サークルの設立につながったもの、地域資源を使ったものなどは評価したい項目であるが、まず公民館側で自己評価をしたうえで、評価してほしい項目を示してほしい。そうしたものを示してもらわないと委員が評価するのは難しい。また、公民館ビジョンを理解してもらった上で講座に参加してもらい、参加者からアンケートをとれば、公民館の評価につながるのではないかと。委員も講座に参加して実際にアンケートに回答することで、見えてくるものがある。</p>
<p>3班 (山口委員)</p>	<p>主催講座の種類が多く、地域特性を生かして行われているのが素晴らしい。個人の学びを集団の学びにするというのがキーワードである。受講者が自分たちで独自に企画をして循環するというサイクルが最高。地域の特性を生かした講座づくりは苦心されていることが伝わってきた。地域とのコラボ、高校や小・中学校とのコラボは、違うジャンルの人たちと地域と一緒に作っていくという目標につながる。少子高齢化に対応した取組も必要である。広報により地域の方に公民館の取組を知ってもらうことが大事である。よいところを加点するプラス評価をすることで公民館の成長につなげたい。</p>
<p>1班 (佐藤委員)</p>	<p>評価の基準について話し合う段階には及ばなかったため、報告された取組のよいところと改善するところを報告したい。何を切り口にしてつながるかというところで各公民館の独自性を聞くことができた。これは非常に大事な評価の視点になる。印象的だったこととして、1つ目は防災などの地域課題について、地域全体が防災への意識を持ち、協力して盛り上げている。2つ目はイベントが世代間のつながりを生み出している。シニア世代が子どもや若者と触れることで得られるパワーは計り知れない。公民館を媒介とした世代間交流を意識したつながりづくりは特に重要なテーマであり、成果をあげていると報告を受けた。3つ目は、学校や児童館（児童センター）、社会福祉協議会などの機関との連携が、大きな力を生み出している。こうしたネットワークにより事業は多彩になり、課題を通じて世代間、団体間のつながりが生まれる。これを公民館がどうコーディネートし、持続的なものにしていくか各館のオリジナリティが期待される。</p> <p>課題としては、公民館（館長）が連携先の機関と話し合いの場を持ち、ギブ&テイクの関係を築くことができるかどうか、つながりづくりの大事なポイントである。利用者層については伝統型の自治会や子供会は参加者が少なくなっており、そういった組織を育むきっかけづくりが公民館に求められる。スタッフの相互交流、活動やイベントへの協力を通じて、地域がつながることの大切さに気づき、連携・協働を進めていく工夫が必要である。コロナ禍にe公民館が全国的にも注目されたが、職員の編集等のスキルをどう高めていくかも課題と言える。今後、つながりづくりの媒体としてどう活用していくのか、もっと掘り下げて検討する必要がある。</p>
<p>加藤（美）委員長</p>	<p>キーワードや重要な課題がいくつも挙がったので、それが観点や基準になる。</p>

	<p>評価項目、観点、基準、評価方法について全体で発表をもとに議論を行っていききたい。</p> <p>各館の取組シート等については、複数の事業を掲げているものや一つに絞っているもの、地域としてのテーマを定めているものやそれぞれの特徴を生かしたものなど様々だった。評価に当たって各館の自己評価に任せる形がいいのか、ビジョンの3つの行動目標をすべて掲げるべきなのか、一つに集中して評価すべきなのか、といった議論もあると思う。今年はつながりづくりに焦点をあてて、次の年は別のものをテーマにするやり方も考えられる。</p> <p>成果指標については、実施した講座の数、参加者人数の実績、満足度調査などが考えられるが、そうしたものをあらかじめ定めるべきなのか、という点もある。いずれにしても、公民館で活用してもらえる評価が望ましい。</p>
磯田副委員長	<p>評価については3つの段階があると思う。</p> <p>1つ目は基準を作る段階。実践についてよかった要素を抽出していくと、いくつかの視点が出てくるので、それを並べて基準作りをする。</p> <p>2つ目は基準に従い公民館が自己評価する段階。</p> <p>3つ目は他館、他地域で共有する段階。</p> <p>というふうに進めて、最終的にビジョンを実現するための全体像をまとめていけたらよいのではないかな。</p>
太田委員	<p>「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」と分かれているが皆同じに感じる。3つに分けている意味がよくわからない。</p>
加藤（美）委員長	<p>公民館ビジョンの方策例を見ると3つの違いがある程度わかる。ただ事業はきちんと3つに分けられるものではないので、複数を掲げるものでもよいと思う。</p>
山口委員	<p>評価基準はわかりやすくなければならない。評価されたことで、できることはすぐ実施、よかったことはすぐPR伝播されるといい。</p>
大塚委員	<p>同じ講座でも趣旨が違ふことがある。曖昧な表現ではなく、似た事業でもこうした点を意識していたなど、具体的な評価の基準をわかりやすい言葉で示していきたい。</p>
佐藤委員	<p>何のために評価するのか。全公民館の取組に対して、努力目標を発信するのもわかるが、市として公民館が必要であるということを発信するための評価だと思っている。そのため、公民館ビジョンが市民の生活や課題にどんな意味があるのかを先に示すべきであり、それが評価につながる。拠点館長が地区をまとめて、地域をどうしていくのか目標を立てて進め、委員が地域をよりよく育ていけるように評価していく方が望ましい。1～5のように点数評価をするのはそぐわない。</p>
加藤（美）委員長	<p>キーワードや大事な要素などが発表で出たので、事務局にそれをまとめていただき、次回の会議で観点、基準、方法を検討したい。</p>
事務局	<p>前回争点となった数値目標についてはどのようなお考えか。</p>
加藤（美）委員長	<p>評価した結果がよりよい公民館のあり方に結びついていくという方法をとりたい。数値で示すのではないというのが委員の意見である。</p>

11 その他

次回の開催日時については委員長と協議の上、後日通知すること、会場は生涯学習総合センター10階多目的ホールで開催予定であることを報告した。

12 閉会